

目次

口 絵 百周年を迎えた愛知学院大学・禅研究所内の一部

卷 頭 言……………愛知学院大学学長 竹田 鐵仙 (i)

記念号刊行のことば……………禅研究所所長 田 島 柏堂 (iii)

川僧慧濟について……………古田 紹欽 (一)

新資料による頑極官慶と尾張新豊寺の研究……………田 島 柏堂 (一九)

白隠の禅と念佛について……………荻 須 純 道 (四)

伝光録の人名表記法の研究 (上)……………田 島 毓 堂 (五)

『普勸坐禅儀』ノート (その三)……………神 戸 信 寅 (七)

曹洞宗の戒律研究資料と研究動向……………川 口 高 風 (九)

『百丈清規』の成立とその意義……………鏡 島 元 隆 (二七)

宋朝禅林の伽藍構成について……………横 山 秀 哉 (三五)

浙江における禅宗の推移——五代時代について——……………鈴 木 哲 雄 (一五)

明・清時代教界の展望——寺刹の復興をめぐって——……………長 谷 部 幽 蹊 (一八)

『臨濟録』助字考	塩見邦彦 (三二七)
東大寺僧齋然の入宋への志向	森克己 (二三五)
金沢文庫本『心要洞玄記』について	納富常天 (二四二)
四種三昧の典拠とその考察(上)——常坐三昧・常行三昧について——	大野榮人 (二七二)
華嚴普賢行願修證儀の研究	鎌田茂雄 (三〇五)
民衆化的傾向——近世禪の世界史的考察をかねて——	中村元 (三一九)
宗教的世界	玉城康四郎 (三三一)
禪と戒律	平川彰 (三六三)
GAKUDO-YOJIN-SHŪ —Points to watch in Buddhist Training—	横井雄峯 (四一四)
執筆者紹介	(四一六)
昭和五十・五十一年度禪研究所活動記録	(四一七)